

DfMA

VOL.1 SYMPOSIUM

2025.4.26 13:00-17:30

設計段階における 生産技術の関与

これからの建築産業は、技能労働者不足と残業規制適用の影響を避けることができず、施工のあり方そのものを見直す時期に差し掛かっています。

その解決策のひとつとして、製造性や施工性を考慮した設計をあらわす言葉である「DfMA: Design for Manufacturer and Assembly」の取り組みに注目が集まっています。

DfMAは、製品部品の製造の容易さと最終製品への部品の組み立ての簡素化の両方を重視した設計手法と定義されています。建築プロジェクトでDfMAを実施する鍵として、設計段階への施工者やファブリケーターなどによる生産技術的な関与が考えられます。

DfMAを実施した結果は、プレファブリケーション、標準部品の使用、簡易な取り付け、ユニット化などに結実するだけでなく、使用資材の低減や自動加工・自動化施工の促進につながる事が期待されます。

そのことは、設計から製造へのシームレスな情報連携を実現するはずですが、その一方で、様々な障害も想定されます。このシンポジウムでは、設計段階における生産技術の関与において、その普遍性あるいは解決すべき課題などを議論したいと考えています。

そこで設計者とのコラボレーションを実践するエンジニアやファブリケーターをお招きし、講演やパネルディスカッションを通じて、DfMA実施における共通課題の整理を試みます。

主催者/主な講演者

SIT 総合研究所
グローバル建築技術研究センター (GBTRC)



センター長
芝浦工業大学教授
蟹澤 宏剛



副センター長
芝浦工業大学教授
志手 一哉



基調講演
東京電機大学教授
小笠原 正豊

主催: SIT 総合研究所
グローバル建築技術研究センター (GBTRC)

会場: 芝浦工業大学 豊洲キャンパス
交流棟 大講義室 (江東区豊洲3丁目7-5)

協賛: 野原グループ株式会社

BuildApp
建設プロセスに、革新と未来を。

PROGRAM

2025.4.26

13:00-17:30

13:00

趣旨説明

芝浦工業大学 教授 / GBTRC センター長

蟹澤 宏剛

13:20

基調講演

「DfMAにおける
建築設計の再構築：
制度、職能、協働の視点から」

東京電機大学 教授

小笠原 正豊

14:00

講演

「BIM時代における
データ連携と新しい職能」

シンテグレート合同会社・
株式会社ヴィック 代表

渡辺 健児

14:30

講演

「建築生産におけるデータ管理」

SUDARE TECHNOLOGIES 株式会社 代表

丹野 貴一郎

15:15

講演

「建築用鉄骨の現状と課題」

株式会社永井製作所 代表

永井 毅

15:45

講演

「ファブリケーターの生産設計」

藤木鉄工株式会社 専務取締役

布矢 孝幸

16:15

パネルディスカッション

コーディネーター

東洋大学 准教授

田澤 周平

清水建設株式会社

大越 潤

17:30

クロージング

芝浦工業大学 教授 / GBTRC 副センター長

志手 一哉

17:45

アンケート
ご協力をお願い

本シンポジウムにご参加いただき、
誠にありがとうございます。
今後の参考とさせていただきます。
アンケートへのご協力をお願いいたします。



所要時間
約3分

スマートフォン上のQRコードを
読み取ってご回答ください。
皆さまのご意見をお待ちしております。